

睡眠時無呼吸症候群 (SAS)

眠っている間の「呼吸停止」、放置していませんか？

睡眠時無呼吸症候群は、睡眠中に何度も呼吸が止まったり、浅くなったりする病気です。

ご本人は気づきにくく、ご家族から「いびきが大きい」「呼吸が止まっている」と指摘されて受診されることも多い病気です。



このような症状はありませんか？

- ✓ 大きないびきをかく
- ✓ 睡眠中に呼吸が止まっていると言われた
- ✓ 朝起きてても疲れが取れない
- ✓ 日中に強い眠気がある
- ✓ 起床時に頭痛がある
- ✓ 夜間に何度もトイレに起きる
- ✓ 集中力が続かない
- ✓ 居眠り運転をしそうになったことがある



1つでも当てはまる方は、睡眠時無呼吸症候群の可能性があります。



放置すると、全身の病気につながる可能性があります

睡眠中に呼吸が止まると、体の酸素が不足し、心臓や血管に負担がかかります。その状態が続くと、次のような病気のリスクが高くなる可能性があります。



高血圧



心筋梗塞



脳卒中



不整脈



糖尿病



交通事故・労働災害

睡眠時無呼吸症候群は、単なる「いびき」ではなく、**全身の健康に関わる病気です。**

検査はご自宅でできます

当院では、ご自宅で行える睡眠検査をご案内しています。小型の検査機器を装着して一晩眠ることで、睡眠中の呼吸状態や酸素濃度、無呼吸の回数などを調べます。



検査結果により、必要に応じて詳しい検査や治療をご提案します。



治療について

検査結果に応じて、一人ひとりに合った治療を行います。

主な治療

- CPAP療法
- マウスピース治療
- 減量
- 生活習慣の改善
- 睡眠姿勢の工夫 など



中等症から重症の方では、CPAP療法が有効な治療法となります。睡眠の質が改善し、日中の眠気や体への負担を減らすことが期待できます。

ご家族の方へ

睡眠時無呼吸症候群は、ご本人よりもご家族が先に気づくことがあります。

- いびきが大きい
- 呼吸が止まっている
- 苦しそうに眠っている

このような様子があれば、一度ご相談ください。



当院にご相談ください

当院では、呼吸器専門医が診察を行い、睡眠時無呼吸症候群の検査・診断・治療に対応しています。



いびきが
気になる



日中の眠気が
強い



家族に呼吸が
止まっていると
言われた

このような方は、お気軽にご相談ください。

早期に発見し、適切に治療することで、**毎日の生活の質の改善が期待できます。**